

# 「企業版ふるさと納税を活用した地方創生の拠点となるアリーナの整備」 ～（仮称）OTA ARENA（太田市総合体育館）整備事業～

群馬県太田市

企画部企画政策課

文化スポーツ部スポーツ施設管理課

2022年11月8日



# 太田市の概要

■ 位置 関東平野の北部、群馬県南東部に位置する。

■ 人口 約 22 万人で高崎市、前橋市に次いで県下第 3 位

■ 産業 SUBARUの企業城下町で、  
製造品出荷額が約 3 兆円と全国有数の  
工業都市

■ 課題 人口減少、若者・女性の転出超過、  
域内消費（観光消費）額の少なさ など



# 建設の背景

## 1 施設の老朽化

### ・自然災害

- ・既存市民体育館の老朽化、大規模改修または建て替えを検討していた。
- ・令和元年東日本台風被害により、早期に建て替えることとして検討が進んだ。

## 2 地方創生

- ・太田市版総合戦略でシティプロモーションや交流人口・関係人口の獲得を目指し各種施策に取り組んでいた。
- ・新体育館の整備を機にプロスポーツチーム誘致も視野に入れ、「スポーツによる持続可能なまちづくり」を掲げ地域の活性化を目指すこととした。

# 建設の背景

## 3 国の施策

- ・地方創生拠点整備交付金、企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）などを活用し、施設を核とした地方創生を行う。
- ・単に建て替えるのではなく、「観るスポーツ」や「スポーツ以外の興行」にも対応し、地域の域内消費拡大（＝経済波及効果、経済の維持）や市民の愛着度・シビックプライドの醸成（＝若者・女性の定着、Uターン）、シティプロモーション・ブランド化（＝交流人口・関係人口の増加、Iターン）に資する拠点施設として整備することとした。
- ・特に、企業版ふるさと納税について、2020年度税制改正により最大で寄附額の9割が軽減されるなど、より使いやすい仕組みとなったことが後押しとなった。

# 事業手法等

## ■ 従来方式（指定管理者制度）

## ■ ネーミングライツ

### 建設費内訳のイメージ

#### ○ 一般的な市民体育館

・・・合併特例債など自主財源による整備

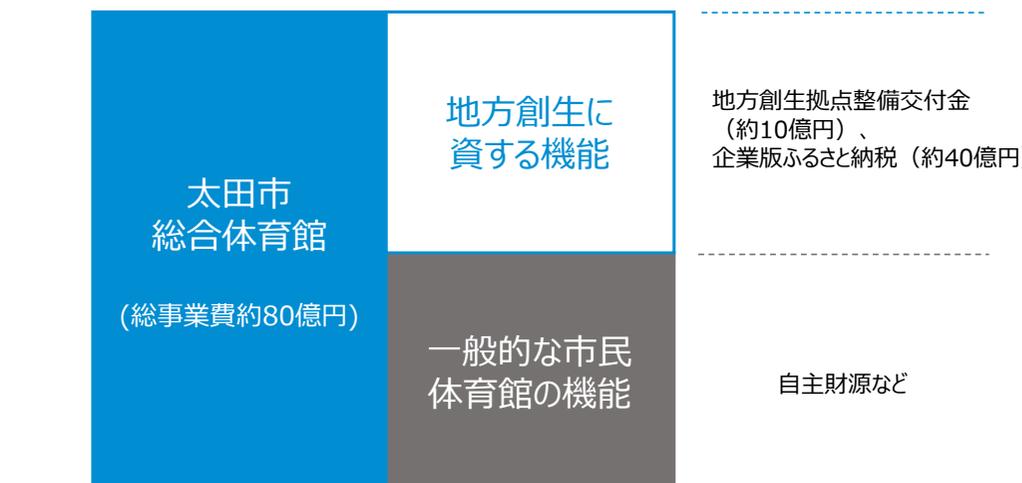


#### ○ 地方創生・地域活性化に寄与する機能

・・・地方創生拠点整備交付金・企業版ふるさと納税

（地方創生応援税制）を活用する。

（建設費内訳のイメージ）



# 事業スケジュール

- ・太田市総合戦略において「市のブランド力向上」を掲げる。
- ・既存市民体育館の改修・建替検討を進める。

## ■ 2019年10月

令和元年東日本台風発生

- ・次期総合計画や次期総合戦略で「スポーツによるまちづくり」を盛り込む。

## ■ 2020年1月

地域再生計画認定申請、地方創生拠点整備交付金申請

## ■ 2020年3月

地域再生計画「スポーツによる持続可能なまちづくりプロジェクト」認定、  
地方創生拠点整備交付金交付決定内示

### 4月

設計・施工一括プロポーザル公募手続き開始

### 7月

太田市と群馬クレインサンダーズとの包括連携協定締結

## ■ 2021年5月

OTAアリーナ（仮称）建設計画正式発表

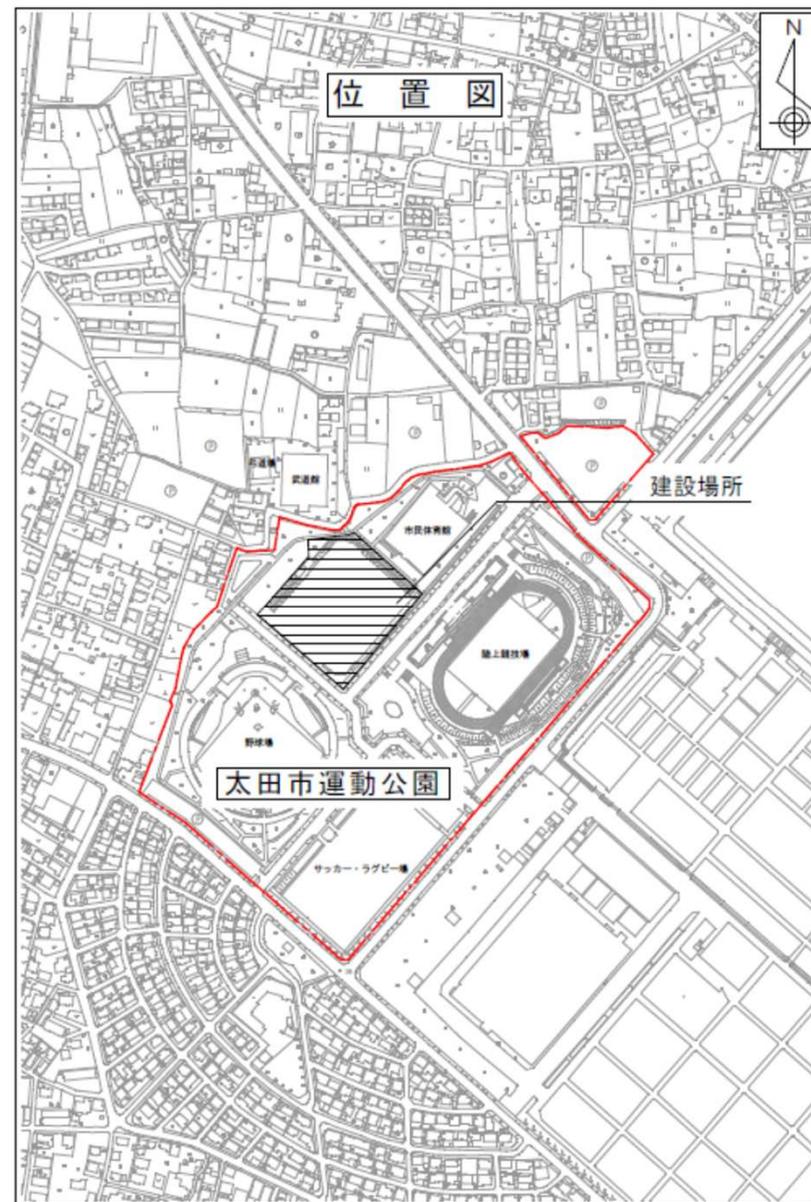
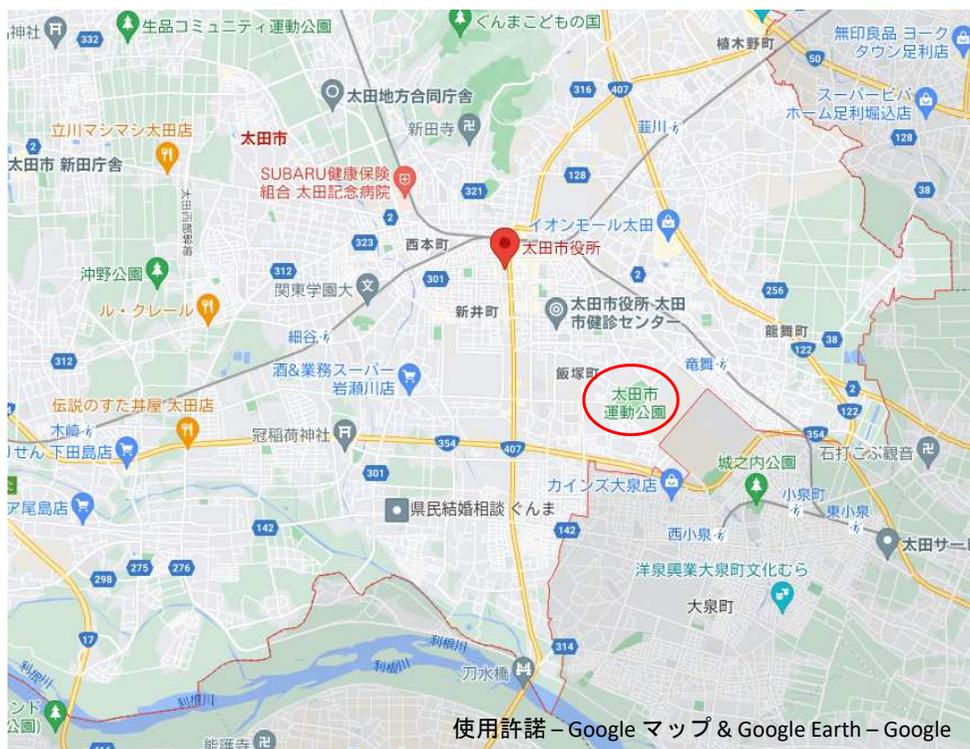
### 7月

建設工事着手（～2023年4月まで）

ホームタウン正式移転発表

※2021度から企業版ふるさと納税を活用

# 配置図



# 計画コンセプト

## ■ スポーツ活動、健康づくりを「する」場を提供できる市民スポーツ施設

- ・市民の多様な活動をサポートするアリーナ
- ・ユニバーサルデザインに配慮し、だれでも利用しやすい施設

## ■ 避難所拠点として、大規模災害時の避難や避難所の支援に対応できる施設

- ・災害時に1,000人程度の避難者を受け入れることのできる施設
- ・大地震に対して十分な構造強度を有する構造
- ・インフラ遮断時にも、3日間程度施設機能を維持できる設備

## ■ 地元チームのホームアリーナとして「持続的な地域活性化の核」となる愛される施設

- ・先端の映像、音響設備と多彩な演出に対応可能なアリーナ
- ・来場者にワンランク上のホスピタリティを提供できる観客席
- ・賑わいを生む連携された、エントランス・広場・サブアリーナ

# 基本計画時の概略諸元

■ 構造規模 鉄筋コンクリート造(R C造)一部鉄骨造(S造)及び鉄筋鉄骨コンクリート造(R S C) 3階建て

■ 建築面積 7,327.23㎡

■ 延床面積 11,160.09㎡

■ アリーナ仕様

競技種目	メインアリーナ 約2,140㎡ 天井高12.5m	サブアリーナ 約630㎡ 天井高12.5m
バスケットボール	国際基準センターコート1面 市民利用 3面	市民利用 1面
バレーボール (6人制)	国際基準センターコート1面 市民利用 3面	市民利用 1面
バドミントン	公式試合用 12面	市民利用 4面

■ メインアリーナ客席数

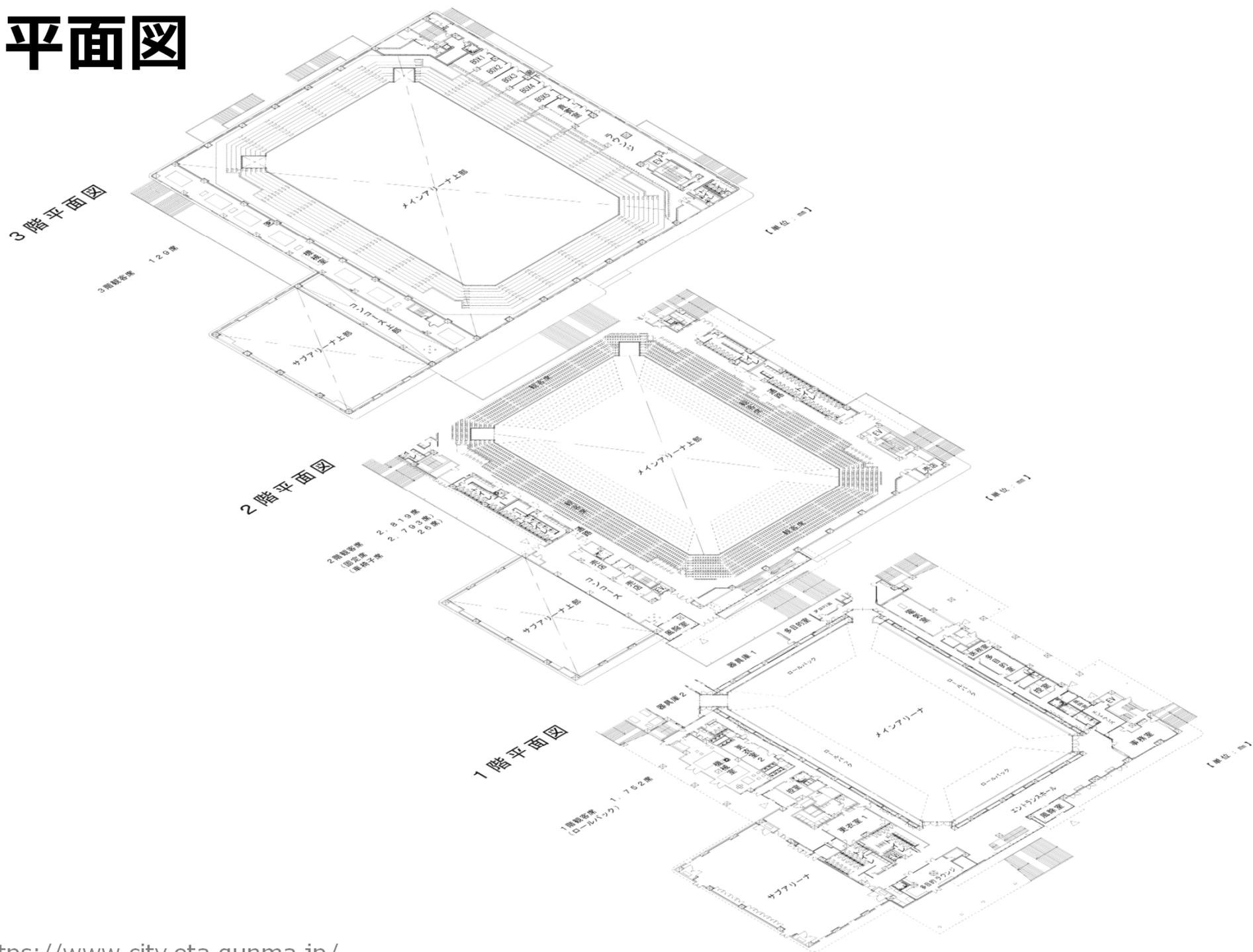
4,700席 (うち車いす席 26席)

※プロバスケットボール興行時は、上記に1階コートサイド席(294席)及び2階立見席(48席)を加え、2階メディア席(15席)を除いた5,027席を確保

■ 主な設備

- ・全館空調設備 (一部停電時利用可)
- ・エレベータ設備
- ・非常用発電設備 (72時間稼働可)
- ・受水槽 雑用水槽 汚水貯留槽
- ・大型センタービジョン (4面3段昇降式)
- ・メインアリーナの演出照明・音響設備

# 平面図



# 外観イメージ図



# 内観イメージ図①



## 内観イメージ図②



# 今後の展開（施設を核としたまちづくり・人づくり）

## ■ 施設やプロチームを介した魅力発信ほか事業展開（例：OTAマルシェ）



ホームゲームに合わせ、太田市の魅力を感じてもらうためのイベント「OTAマルシェ」を開催している。飲食販売、物販販売のほか、近隣自治体の農産物の配布などを行い、太田市や周辺地域を知ってもらうきっかけづくりを行う。

## ■ 施設やプロチームを介した人づくり（例：GKAレモネードスタンドプロジェクト）



ホームゲームにおいて、レモネードスタンド設置による小児がん支援のための募金活動を行っている。本プロジェクトは、ぐんま国際アカデミー（GKA）の高校生の発案によるもので、発案者自らがプロチームや民間企業に働きかけ実現した。

⇒地域の強みを活かし、地域活性化・持続可能なまちづくり